

2026年3月24日

## アートラボ 2026 第1期

## ひらくツール

## ふれるはなすあるく 齋藤名穂 × 長野県立美術館

2026年4月18日（土）－7月12日（日）

長野県立美術館 本館2階 アートラボ

長野県立美術館本館2階の「アートラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な「ラボラトリー（実験室）」となることを目指しています。2026年度第1期展覧会では、長野県立美術館リニューアルの際に制作された「ひらくツール」（2021年）と、そのデザインを担当したデザイナー齋藤名穂を紹介します。



「建築空間を、五感や個人の空間の記憶を頼りにデザインする」をテーマに活動する齋藤は、「ふれる小さな長野県立美術館」や「たてものキューブ」「ふれるアートカード」など、視覚以外のさまざまな感覚をつかって、楽しむためのツールを開発しました。本展ではこれらのツールを展示し、実際に触れて、見て、体験していただくことができます。アートラボで自分の感覚を再発見してみませんか。

## ▶展示作品（予定）

長野県立美術館ひらくツール（デザイン：齋藤名穂、2021年制作）

《ふれる小さな長野県立美術館》

《たてものキューブ》

《ふれるコレクション》

《ふれるアートカード》



## ▶作家略歴

齋藤名穂（さいとう・なお）

建築家、デザイナー。UNI DESIGN 主宰。ヘルシンキ芸術デザイン大学空間デザイン修士課程修了。見えない方と一緒に、建築の空間や場所を把握するための「さわる地図」の制作をおこなっている日本の第一人者。単なる触地図とは異なり、使われている素材や形の触感をだれかと楽しむためのコミュニケーションツールとして、庭園美術館のウェルカムルームのための「さわる小さな庭園美術館」や東京国立博物館の「東京国立博物館本館のさわる地図」などを制作。そのほか「建築空間を、五感や個人の空間の記憶を頼りにデザインする」をテーマに美術館での展覧会空間設計を担当。最近の主な仕事に「ルート・ブリュック 蝶の軌跡」展、「世界を変える美しい本 タラ・ブックスの挑戦」展（Eureka と共同設計）、「アーノルド・ローベル展」など。



## 【開催概要】

会 期：2026年4月18日（土）－7月12日（日）

会 場：長野県立美術館 本館2階 アートラボ

開館時間：9:00-17:00 観覧料：無料

休館日：水曜日（祝日の場合は翌平日 ただし2026.4/30（木）は除く）

主 催：長野県、長野県立美術館

※諸般の事情により、展覧会の内容などに変更が生じる場合があります。

最新情報については美術館ホームページをご覧ください。



## ■報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

（※2026/4/1～担当課・係名が変更となります。→長野県立美術館 総務課 広報係）

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp